

問 鹿角高校が統合したことで、遠い学校に通うことになった生徒の通学バスの利便性を考慮して増便できないか。

答 冬季の増発対応等の調整を進めており、状況を見極めながら必要な対策を検討していく。



こども誰でも通園制度について

問 本格実施に向けて、市内対象施設での保育士の配置状況や処遇改善・人材確保策について伺う。

答 保育士の人数等状況に応じた方法が選択できるため、施設に無理のない範囲で受入態勢を整え、保育士の負担が増加しないよう配慮していく。また、保育補助者雇上強化事業による保育補助者の確保を支援するほか、子ども未来事業団が働

きやすい職場環境づくりに努め、厚生労働省「えるぼし認定」を取得しており、今後も法人を後押しする施策も含め、国・県の動向を注視し、改善策を検討していく。

害虫駆除について

問 アメリカシロヒトリは今後も大量に発生することが懸念される。効果的な早期駆除の対応ができるように市で取り組んでいただきたい。

答 市では、自治会等で薬剤散布ができるよう各市民センターで動力噴霧器を貸し出ししており、必要な場合には専門業者に依頼することができるようホームページなどを活用し広く周知に努める。

質問した項目

■害虫駆除について ■こども誰でも通園制度について ■鹿角高校の通学バスについて

保田 直美 議員 (無会派)

質問時間 30分



録画配信はこちらから

問 今後の分娩機能再開に向けた取り組みについて鹿角市としての方針は。

答 安全な分娩機能を維持・確保するためには、集約はやむを得ず、かづの厚生病院での再開は難しいと考える。



教育に関して

質問した項目

■鹿角の小児科・産婦人科医療の今後について ■教育に関して ■男女共同参画、育児休暇制度について

問 不登校対策として、市内小中学校でも全児童生徒に配付しているタブレット端末を利用したオンライン授業やメタバース授業などはできないか。

答 別室にてオンラインで参加するリモート授業の取組事例があり、希望に応じて対応できる体制を整えている。また、学習用端末を持ち帰り、インターネット上で連絡を取り合うことを可能とし、学級担任と児童生徒のつながりを持ちな

がら支援を行っている。メタバース授業に関しては、不登校児童生徒のニーズも踏まえたうえで、慎重に検討していく必要がある。

男女共同参画・育児休暇制度について

問 市役所職員の育児休暇取得率の過去5年の推移は。また市長は、首長の育児休暇取得に関して、どのように考えているか。

答 市職員の過去5年間の育児休暇取得率は、女性100%、男性25・9%だが、令和5・6年では男性が62・5%と取得割合が向上している。また、自身(市長)も必要な場合には時間をいただこうと考えている。



録画配信はこちらから